



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2012年3月期 業績予想説明資料

2011年7月28日
日本シイエムケイ株式会社

1



2012年3月期 業績予想

1. 総括	．．．	3
2. 売上高の状況	．．．	6
3. 営業利益の状況	．．．	8
4. 設備投資の状況	．．．	10
5. 今後の事業展開	．．．	11

2

1. 総括－① 2011年度の取組み方針



I. 品質第一の経営

品質第一の経営方針を再確認し、
『心のこもった物づくり』を合言葉に
品質の強化ならびに信頼性の向上を図る。

II. 利益体質へ向けて

絶対的競争優位の確立
『品質・納期・営業力・技術力・効率性』
を徹底して改善。

3

1. 総括－② 重点施策と効果



I. 品質改善による限界利益改善：約7億円

- ・ 品質管理部門の強化
(2011年4月1日付品質部門の組織変更実施済)
- ・ 不良損金発生の徹底的抑制

II. 生産効率化によるコスト削減：約9億円

- ・ 国内生産体制の効率化、適正人員配置見直し等によるコスト削減
- ・ グループ内生産配分の適正化による外注コスト削減

III. 海外事業の損益改善：約10億円

- ・ タイ工場のプロダクトミックス適正化による損益改善
- ・ 車載需要の更なる取り込み

* その他減価償却費減少による固定費削減：約8億円

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、
その実現を保障するものではありません。

4

1. 総括—③ 12/3月期売上・利益見込み



■売上

- ・上期は、自動車関連製品の生産調整により低迷するものの、下期にかけては自動車関連製品の需要急回復が見込まれることから前年並。

■利益

- ・生産効率化によるコスト削減及び海外事業の損益改善等により、通期で黒字化を見込む。

(単位:百万円)

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (計画)		前年比 (通期)	増減率
		上期	通期		
売上	87,023	38,000	87,000	-23	-0.0%
営業利益	-1,041	-500	1,500	+2,541	—
経常利益	-1,991	-1,000	600	+2,591	—
当期利益	-5,726	-1,100	500	+6,226	—

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、その実現を保障するものではありません。

5

2. 売上高の状況—①



■用途別見通し

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (計画)		前年比 (通期)	増減率	主な要因
		上期	通期			
カーエレ・車載	435	186	447	+12	+2.8%	・下期需要急回復
通信	96	39	90	-5	-6.1%	
AV・デジタル家電※1	71	17	39	-31	-44.6%	・価格下落激しく、選別受注対応
デジタルカメラ	47	26	62	+14	+29.5%	
アミューズメント	29	19	44	+15	+52.3%	・ゲーム機用高付加価値基板増加
その他※2	190	89	186	-4	-2.2%	
合計	870	380	870	-0	-0.0%	

※1 ビジュアル+オーディオ ※2 コンピュータ+家電+OA+その他

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、その実現を保障するものではありません。

6

2. 売上高の状況－②



■製品別見通し

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)	12/3月期(計画)		前年比 (通期)	増減率	主な要因
		上期	通期			
ビルドアップ・ パッケージ基板	280	133	316	+35	12.8%	・ゲーム機、カマ向け需要増加 ・車載向け需要増加
多層プリント 配線板	261	104	238	-23	-9.1%	・デジタル家電の受注減少
両面プリント 配線板	189	80	173	-16	-8.6%	
その他	137	61	141	+3	+2.8%	
合計	870	380	870	-0	-0.0%	

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

7

3. 営業利益の状況－①



■事業別見通し

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)		12/3月期(計画)				前年比 (通期)	増減率
	上期	増減率	上期	増減率	通期	増減率		
ビルドアップ・パッケージ事業	11	4.0%	5	2.7%	23	5.0%	+11	97.6%
両面・多層貫通事業	-22	-3.8%	-11	-6.1%	-7	-1.9%	+14	—
合計	-10	-1.2%	-5	-1.3%	15	1.7%	+25	—

➤ ビルドアップ・パッケージ事業

ビルドアップ事業の売上高増加により11億円の増収。

➤ 両面・多層貫通事業

車載市場でのシェアアップ、生産効率化等により14億円の損益改善。

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

8

3. 営業利益の状況－②



■地域別見通し

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)		12/3月期 (計画)		前年比		主な要因
	売上	利益	売上	利益	売上	利益	
日 本	638	15	642	27	+4	+12	・高付加価値シフト
中 国	229	0	233	0	+4	+0	
東南アジア	108	-21	113	-9	+4	+11	・タイ工場の損益改善
欧 米	31	0	32	1	+1	+1	
計	1,008	-4	1,020	20	+12	+24	
消去又は全社	-137	-5	-150	-5	-12	+0	
連 結	870	-10	870	15	-0	25	

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

9

4. 設備投資の状況



実行ベース

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (計画)	前年比	主な投資内容
国内	5	9	+4	・品質改善(約3億円)、内製化(約2億円)
海外	13	11	-2	・品質改善(約2億円)、内製化(約3億円)
連結	18	20	+2	
減価償却費	63	54	-8	

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

10

5. 今後の事業展開



■ロードマップ



本資料における将来情報は、2011年7月時点での見通しであり、その実現を保障するものではありません。

11



END

12